

LNERP2 やはり欧州に行っちゃったようです！

下の写真が、先週末のフランスの運転会で欧州初披露された P2 だそうです。ローザンヌのクラブメンバーから日本の友人あてへのご注進(タレコミ)で発覚しました。傍についているのは ASTEREUROPE のボスですね！彼等の驚きは、結構色々な箇所、例えば、火室や煙室部に漏れを発見したにもかかわらず、ボイラーがすごいパフォーマンスを維持し続けている事、放って置くとせっかくの外装にダメージを与えるので、修復は、したそうですが・・・まあ、大西洋上での輸送、相当“ゆすられ”ますから、想定内の問題でした・・・結果、安全弁をオーバーホールした？そうです(分解清掃後、バネを変えたそうですが？結果は、どうなのでしょう？？ポップアップ式。構造と、材質上の問題は、どうしようもないですから)またバーナを糸芯式からメッシュ式に変えたそうです。

いずこ何処も糸芯式バーナーの高さを揃える作業に、難儀しているのは事実です。特に！英国の阿呆な政策(ブリクジット)のせいで、欧州域内で燃料用アルコール純度とカロリーが、結構違いますから。この調整は、欧州では、マストなジョブなんです。



ハイ。こういった情報で、「ああ。試作初号機は、夏の終わり頃迄、帰国しないのだろうか。」と想像が出来ます。2号機が初号機と同じパフォーマンスが出せる事。新規製造した量産部品が、試作初号機と同じ性能が出せる事。この見本となるサンプル無しで、これら条件をこの夏までに確認しないと、部品の費用は確実に、年内に支払いがあり、年末のリリース(年内の資金回収)は厳しくなります。営業と経営の二律背反する命題に直面しております。(悩)特に今次、米国西海岸の結構有名な地域銀行の破綻や米国の孤立主義の復活(米国がデフォルトしても米国民は、困らないと言う事実)は、世界経済の危機への入り口、と言う現実的命題を！トランプ支持者の米国中西部の田舎者と欧州の代理店には、ロジカルに解って欲しいんですけど無理かな？

LNERP2 正式な予約受付を開始しています。

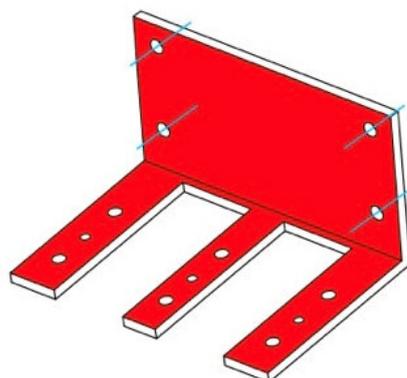
但し、日本向け価格は、Web 上に出すと、海外のお客様がアクセプトされた価格よりかなり安いので、正式な予約をされた方のみ、電話で、価格をお伝えします。「証拠が残る形」での価格提示は控えさせて戴いております(手紙やメールなど、証拠が「残る形」での予約は、一切承りません)。基本海外の価格はキットで US7000ドルを超えています。でも世界の皆さん、この価格でも良心的と言って下さる仕上がりになっています。基本「予約者のみ」、この価格で、以降在庫販売や公表価格は、上記ドル換算での、世界共通の価格になります。ご注意ください。お問い合わせはメールで、ご連絡は電話で、電話をしてよい平日の10時から17時の間をご指定下さい。(12時から13時は、昼休みなので出ません。ご注意ください)

すみません価格は入門者向けでも、実態は、初心者向けではないかも知れません？

結構部品、見直しました、写真の部品のかなりは、日本の精密機械加工メーカー製の部品です。調整がメッチャ効きます。と云う事は組み立てプロセスで段階を踏みながら調整しつつ組み立てる必要があります。簡単に例えるならば、香港で安売りしているクォーツ時計ではなく、機械式の腕時計の様な仕上がりになっています。予約された方、甘く考えていると動きませんよ Shay !



このクランク軸を固定するカウンターウエイト、設計で、肉圧を取らなさ過ぎ。負けて膨らんだりします。まあ対処法は単純です。エンジンクランク部の土台部品も赤い部分が、曲者です！理由に関して、解る人には、解るでしょう！し、解らない人にも、現物を見せて説明すれば、「あっ！」と言って、すぐ解るでしょう。



いやあ日本製部品は、調整が必要ですよ。キット部品の梱包には、注意を払って欲しいです。基本メッキ仕上か写真で未塗装の部品が、日本製の部品で、塗装仕上げの部品は、中国製です。とは言え、機械加工品は、香港(深圳)ですから、しっかりしています！要は、設計の段階でもう少し、見た目より、造り易さと堅牢性に配慮すれば、良かったか？と後悔しております。